

# 新幹線の

①

# 春

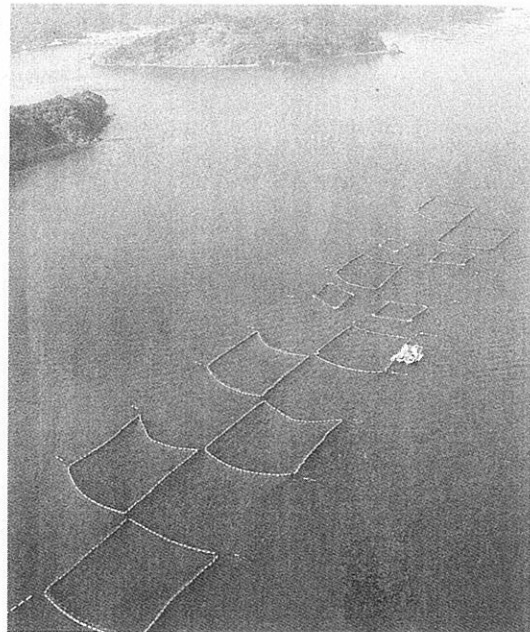
ハワイやカリフォルニアで人気の日本料理店「Morimoto」テレビで「料理の鉄人」として名をはせた森本正治のその店では、九州から空輸したクロマグロのすしが、リゾート客らを喜ばせている。

このマグロは、人工孵化させた稚魚を、熊本県天草市沖で完全養殖したものだ。最大40四方の7基の養殖いかだに、1万5000匹が泳ぐ。地場の養殖会社「福吉魚類」が3年前から手がけ、昨秋、出荷にこぎつけた。

「天空まぐろ」ブランドで知られているが、世界初の完全養殖事業のリスクは小さくない。そこに今年1月、投資の手を差し伸べたのが、福岡市の新興投資ファンド「ドーガン・インベ

## 開業へ地元マネー動く

クロマグロを養殖している巨大いかだ(23日、熊本県天草市牛深沖で、本社へリから) 〓宮坂永史撮影



ストメンツ」だった。

ドーガンは昨年3月、熊本市のJR熊本駅に近いホテルニューオータニ熊本(126室)へも投資していた。2011年3月の九州新幹線鹿児島ルート全線開業をにらんでのことだ。

熊本市出身の森は04年、シティバンクから独立、ドーガンを設立した。九州の有望企業を九州の資金で支援することで、地域活性化をめざす「金融の地産地消」を旗印にする。主な出資者も、国の公的機関と西日本シティ、鹿児島、肥後などの地方銀行。巨利を求めて破綻企業を買いあさる「ハゲタカファンド」とは一線を画す。

ドーガンの森大介社長(左)と鈴木光貴さん。後方はホテルニューオータニ熊本(22日、熊本市で) 〓鳥山文字子撮影



これまでの総投資額は、バイオ、物流、印刷など37件65億円。鹿児島県の農業生産法人をはじめ、マグロやホテルのほかにも全線開業効果の追い風が期待される投資先は少なくない。

新幹線は九州の人・カネモノの流れを変えようとしている。9月に公表された基準地価では、全国的に下落傾向が続くなか、博多、熊本、鹿児島中央各駅周辺での上昇、横ばいが目立った。今年度の企業の設備投資は前年度比8・7%増の見通しで、福岡市で大型商

業施設「第2キャナルシティ」が着工するなど、駅周辺の再開発も進む。

17日。九州新幹線の新ダイヤが発表されたその日、博多駅近くの西日本シティ銀行本店別館に、ファンドに出資する地銀6行の担当者顔顔をそろえた。3か月に1回の運用報告会議。円卓を囲んで、数字をめぐるやりとりが続く。

ドーガンのホテルニューオータニ熊本担当、鈴木光貴(28)は報告した。「レストランの売り上げは2割増の見込み。新幹線のポテンシャル(潜在力)は計り知れない」

九州新幹線鹿児島ルート全線開業の年が明ける。福岡と鹿児島を最短1時間19分でつなぎ、鹿児島と大阪を直結する。「ディスカバー九州」第2部は新幹線がもたらそうとしている新しい動きを探る。

(文中敬称略)